

子どものゆたかな学びを保障する教育

- 子どもの学ぶ意欲やゆたかな学びを重視し、子ども一人ひとりの学力保障と教職員の専門性向上を！
- 教員に時間的、経済的、精神的負担を課す「教員免許更新制」の早期廃止を！



Abundant learning

- 学校現場の負担となっている全国学力・学習状況調査については、悉皆調査を廃止し、あり方を抜本的に見直すこと。
- 教職員の専門性を高めるための自主的、主体的な研修の機会を保障すること。
- 第三者も教員採用に関わる方式とする公正・透明なシステムを確立し、年齢制限の撤廃や障害者の採用拡大をすすめること。

全国学力・学習状況調査が子どもの学びをゆがめています

事前対策が行われているA市のB小学校6年生の2018年4月当初の時間割例

	9(月)	10(水)	11(火)	12(木)	13(金)	16(月)	17(火)
1限	始業式	学活	学活	計算	対策(国)	対策(国)	学調(国・算)
2限	学活	入学式	学活	対策(国)	対策(国)	対策(算)	学調(国)
3限	そうじ	学活	学活	対策(算)	対策(算)	対策(理)	学調(算)
4限			学活	漢字	対策(理)	図工	学調(理)
5限			計算	算数	学活	国語	学調(質問紙調査)
6限				図工	委員会	算数	国語

学調=全国学力・学習状況調査

クラスのメンバーや担任も変わり、新しい環境の中で様々なことにチャレンジして頑張ろうと思っている子どもたちにとって、点数を上げるための学習は苦痛でしかありません。また、授業時間等、教育課程にも影響を与えています。



調査に係る費用は毎年約54億円

54億円あれば...

- ・教員を約700人増やせます
- ・専門スタッフや外部人材も拡充できます
- ・一人ひとりの子どもに応じたサポートができます

国連子どもの権利委員会(第4回・第5回)からの勧告 (2019.2.1採択)

ストレスの多い学校環境(過度に競争的なシステムを含む)から子どもを解放するための措置を強化すること。

福井県議会「福井県の教育行政の根本的見直しを求める意見書」(2017.12.19採択)

…「学力日本一」を維持することが本県全域において教育現場に無言のプレッシャーを与え、教員、生徒双方のストレスの要因となっていると考える。(中略)…日本一であり続けることが目的化し、本来の公教育のあるべき姿が見失われてきたのではないかと検証する必要がある。(一部抜粋)

全員参加の悉皆調査と結果公表を続けていることが、こうした動きを生み出す原因のひとつです。

教員免許更新制は必要でしょうか？

全国的に教員不足が深刻です！

- ・2017年4月の始業式時点で、定数に対して少なくとも717人もの学級担任が不足していた。(NHK調査)
- ・担任教員が確保できず、教頭が担任を兼務している。(NHKニュース)
- ・教員が確保できず、4月は国語、理科の授業を実施できなかった。(日本経済新聞)
- ・教員不足の要因として、「免許状の未更新等により採用できなかった」と4割近くの自治体が答えた。(文部科学省調査)

子どもたちの学びにも影響が出ています

教員の年間研修日数の実例

	小学校			中学校		
	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん
経験年数	3年目	15年目	35年目	3年目	15年目	26年目
校内	38日	32日	11日	20日	18日	36日
校外	12日	9日	26日	28日	30日	23日
合計	50日	41日	37日	48日	48日	59日

日教組調査より

日々たくさんの研修を積んでいます

教員免許更新制に対する学校現場の声

- ・退職者等に代替をお願いしても免許状の有効期間を過ぎているため、引きうけてもらえない。
- ・日々研修を積んでいる。その上30時間以上の更新講習は必要ない。
- ・現場に生かすことができる講習内容がない。
- ・講習会場が近くになく、片道3時間かかった。更新講習料の3万円の他にも交通費や宿泊費が自費であるため、時間的、経済的負担がとても大きい。
- ・申請書類等、手続きがとても煩雑で時間がかかる。

免許更新制は早期に廃止すべきです！